

国際標準のアセスメントツール  
MDSケアプラン方式が



の統合版として

インターライ方式ケアアセスメントに  
生まれ変わりました



特定非営利活動法人  
ASP・SaaS・クラウドコンソーシアム



特定非営利活動法人  
インターライ日本

# 新しくなったインターライ方式のしくみ

## CAP(臨床ケア指針: Clinical Assessment Protocol)

- CAPには、要支援・要介護高齢者に起こりやすい問題を検討する方法やケアの方向に関する臨床的知見が凝縮されています
- インターライ方式では、居宅・施設・高齢者住宅の各版を通じて同じCAPが用いられています

### CAPの27領域

	居宅	施設	高住		居宅	施設	高住
1. 身体活動の推進	○	○	○	15. 社会関係	○	○	○
2. IADL	○	—	○	16. 転倒	○	○	○
3. ADL	○	○	○	17. 痛み	○	○	○
4. 住環境の改善	○	—	—	18. 褥瘡	○	○	—
5. 施設入所のリスク	○	—	○	19. 心肺機能	○	○	○
6. 身体抑制	○	○	—	20. 低栄養	○	○	○
7. 認知低下	○	○	○	21. 脱水	○	○	—
8. せん妄	○	○	—	22. 胃ろう	○	○	—
9. コミュニケーション	○	○	○	23. 検診・予防接種	○	○	○
10. 気分	○	○	○	24. 適切な薬剤使用	○	○	—
11. 行動	○	○	○	25. 喫煙と飲酒	○	○	—
12. 虐待	○	—	—	26. 尿失禁	○	○	—
13. アクティビティ	—	○	—	27. 便通	○	○	—
14. インフォーマルな支援	○	—	—				

# アセスメント表

- 利用者を包括的にアセスメントするのに必要な項目で構成されています
- アセスメントすることによって、利用者が27のCAPのどれに該当するかを確認できます

## アセスメントセクション一覧

A 基本情報	L 皮膚の状態
B 相談受付表	M アクティビティ
C 認知	N 薬剤
D コミュニケーションと視覚	O 治療とケアプログラム
E 気分と行動	P 意思決定権と事前指示
F 心理社会面	Q 支援状況(居宅版のみ)
G 機能状態	R 退院・退所の可能性(施設版のみ)
H 失禁	S 環境評価(居宅版のみ)
I 疾患	T 今後の見通しと全体状況(居宅版のみ)
J 健康状態	U 利用の終了
K 口腔および栄養状態	V アセスメント情報

## 記入要綱

どの職種がアセスメントしても  
結果のばらつきが少ない

アセスメント表の選択肢を選ぶ際の詳細な評価基準が書かれたマニュアルです



によって、エビデンスに基づいた課題分析が可能

3

トリガーされたCAPの内容を参照して課題を検討する

CAP 17 痛み

I 問題

痛みは、「からだに生じた、痛みを感じ、痛みを伴って起きた感覚的・感情的な不快感」である。また「言葉でコミュニケーションができないことは、本人が痛みを感じ、適切な鎮痛治療が必要である可能性を示唆しない」(International Association for the Study of Pain-IASP)とされる。

痛みは、筋骨格系(関節炎、肩こり、末梢神経痛)による障害、創傷(骨折、神経系(糖尿病性ニューロパチー、帯状疱疹など)、がん)による障害、身体系(身体系や組織の損傷の影響を受ける。ただし、痛みの程度(重症度)は主観の問題であり、組織や身体系システムの損傷の種類や程度と必ずしも比例しない。

このCAPでアセスメントする関連事項の中には、痛みの発症時期、痛みの程度、現在の治療の様子、痛みの訴えが認知やコミュニケーション障害によって阻害される程度が含まれる。

痛みがあることはまた、他の苦悩を増強させ、その結果、無力感の高まり、不安、うつ、活動の低下、食欲低下、睡眠障害などを引き起こす。つまり、痛みの管理は、鎮痛そのものを越えて、QOLや身体機能に焦点をあわせたケアや治療までその範囲に入る。

痛みは適時に対応されなければならない、とくに最近始まった痛みの場合には重要である。痛みの管理は、多職種が本人や家族、介護者とかかわるべきである。さらに効果をもたらすためには、インフォーマルな介護者や本人が、痛みやその前兆を適時に医師やその他のケアチームのメンバーに伝える必要がある。

全体のケア目標

- ・痛みの原因を特定する
- ・日常生活や活動に支障をきたさないよう痛みを最適化する

CAPには  
 「問題が起こりやすい状況」  
 「問題が悪化する危険性」  
 「問題が改善する可能性」  
 などがまとめられています

4

検討内容をケアプランに反映させる

第2表

施設サービス計画書(2)

利用者名:〇〇 〇〇殿

生活全般の解決すべき課題(ニーズ)	援助目標		援助内容
	長期目標	短期目標	サービス内容
リハビリテーション	立位・移動・起き上がり動作等の獲得	短期集中リハビリの実施	・短期集中リハビリを実施します。 ・動作時の介助と声掛けを行います。
疾患管理 脳梗塞の再発を予防したい	脳血管障害の再発予防が出来る	内服の管理を行う	・体調管理を行います。 ・内服薬はナースステーションで管理し服薬確認を行います ・バイタルサインチェックを行い、体調変化に留意します。
食事・栄養 療養食を提供し摂取量の	療養食を提供	療養食を提供する	・栄養マネジメントを行います。 ・糖尿病食を提供します

# さらに広がるインターライ方式の活用

## ■ 数値による厳密なモニタリング

インターライ方式では、アセスメントデータに基づき利用者の状態を示す4つのスケールが算出できます

**ADL-H**

ADL機能障害  
(7段階)

**CPS**

認知機能障害  
(7段階)

**DRS**

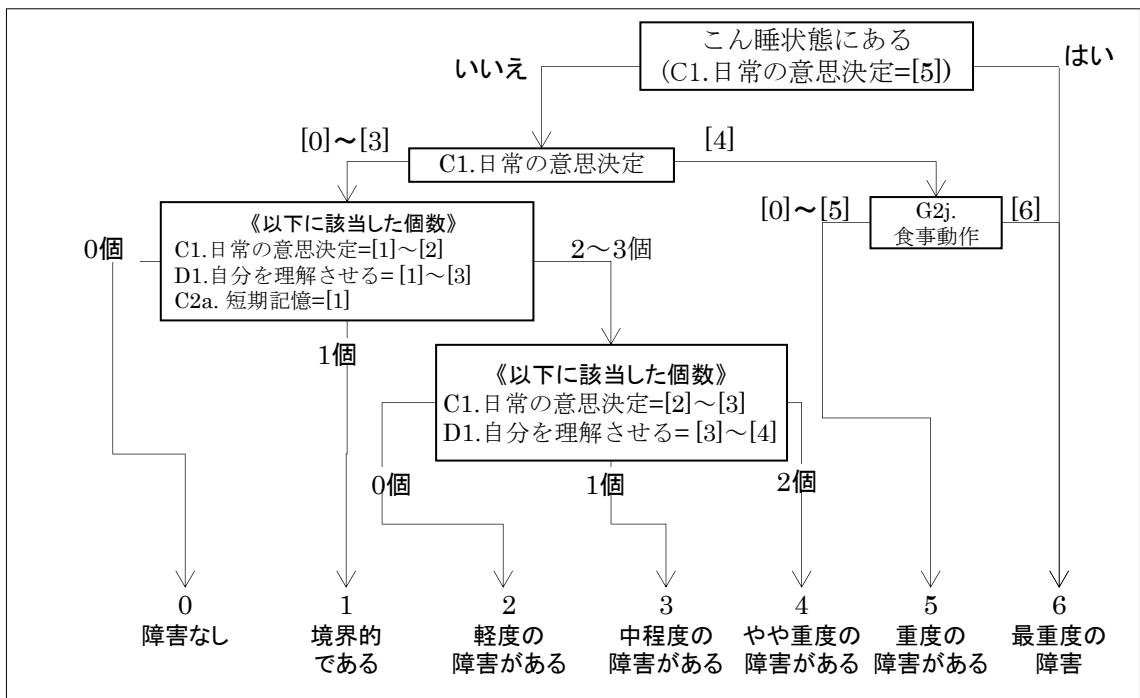
うつの状態  
(0-14点)

**PAIN**

痛みの状態  
(5段階)

- 要介護度よりも、広範かつ精緻に利用者の状態変化が把握できます
- 管理者は事業所の利用者構成の特徴や変化を常に把握できます

参考：CPSの算出手順



# ■各事業所の客観的な質の評価(QI)

ケアプラン作成の際に入力したアセスメントデータを2次利用して事業所のケアの質を評価できます  
(QI評価研究事業としてモデル実施中)

アセスメントデータからケアの質を表す数値(QI)を計算

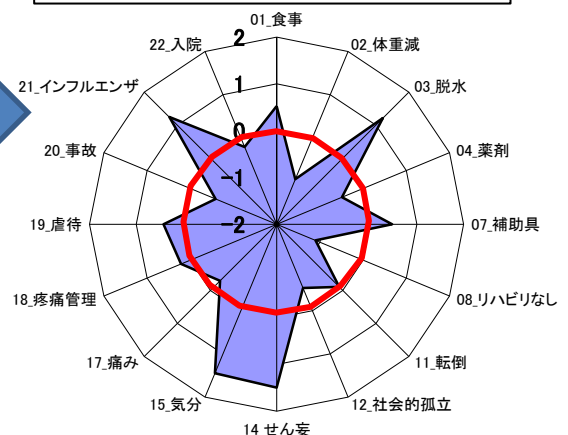
居宅版のHC-QIでは下記の22の領域を評価できます

1. 不適切な食事	9. ADLの悪化	17. 重度の痛み
2. 体重減少	10. 屋内の移動の悪化	18. 疼痛管理不十分
3. 脱水	11. 転倒	19. 虐待(身体抑制)
4. 薬剤の被管理	12. 社会的孤立	20. 事故
5. 尿失禁の悪化	13. 認知機能低下	21. インフルエンザワクチンの未接種
6. 皮膚潰瘍の悪化	14. せん妄	22. 入院
7. 補助具の不使用	15. 気分低下	
8. リハビリなし	16. コミュニケーション低下	

数値をもとに事業所ごとの得意分野・不得意分野をレーダーチャートで示しケアの質を可視化

レーダーチャートの見方:  
赤線は全体平均。青い部分が赤線より外に出ている領域はケアの質が低い可能性があります

A事業所のレーダーチャート





# クラウドサービスによる提供

インターライ方式はASPICを通じて、クラウドサービスで提供されています。  
モバイル端末からのアクセスも簡単で、データ紛失の心配も大幅に軽減。



モバイルでも入力しやすい  
アセスメント表

アセスメント表  
利用者: 様

保存する

総 A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V

○ 治療とケアプログラム

(○1) 健診・予防接種

■ O1a| 過去1年間の血圧測定

居宅 施設 高齢者

memo

○ 0 いいえ

○ 1 はい

選択解除

■ O1b| 過去5年間の大脳内視鏡検査

居宅 施設 高齢者

memo

○ 0 いいえ

○ 1 はい

選択解除

アセスメント表

19.0	1点	3 中程度の障害がある
	2 限定援助	
	0:痛みなし	

	優先順位	状態	ケアへの反映、方法	[検討]
の推進	○ <input type="checkbox"/>			検討
	<input type="checkbox"/>			検討
3 ADL 改善 維持	<input type="checkbox"/>			検討
4 住環境の改善	<input type="checkbox"/>			検討
5 施設入所のリスク	○ <input type="checkbox"/>			検討
6 身体抑制	<input type="checkbox"/>			検討
	ADL自立			
	ADL非自立			

トリガーされたCAPと  
スケールが自動表示

お問い合わせ先 内容に合わせて下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

## インターライ方式ケアアセスメント

■クラウドサービスの利用や、契約に関するご質問については…

▶**ご契約中の介護ソフト会社**まで  
お問い合わせ下さい。

■現在利用中の介護ソフト会社がインターライ方式導入を予定していない場合



特定非営利活動法人  
ASP・SaaS・クラウドコンソーシアム(ASPIC)

ASPIC インターライ窓口 ▶

✉ [interRAI@aspicjapan.org](mailto:interRAI@aspicjapan.org)  
<http://www.aspicjapan.org>

■インターライ方式ケアアセスメント内容や研修等に関して



特定非営利活動法人  
インターライ日本

お問い合わせ窓口 ▶

✉ [info@interrai.jp](mailto:info@interrai.jp)  
<http://interrai.jp>

TEL: 080-8748-0009